

「平成二十八年版 機械設備工事監理指針」抜粋

監修：国土交通省大臣官房官庁営繕部

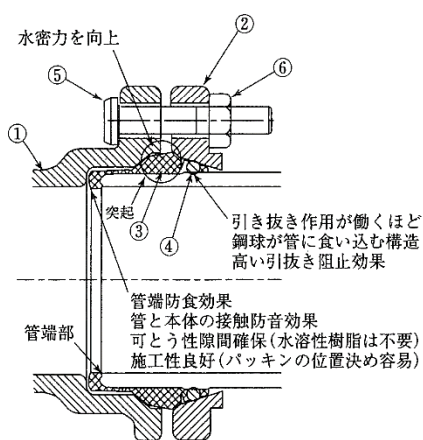
編集・発行：一般社団法人公共建築協会

第 2 編 第 5 節 管の接合 (ページ 239~241)

2.5.5 排水用塩ビライニング鋼管及びコーティング管

(b) 【参考】その他の排水鋼管用可とう継手による接合

鋼球入り排水鋼管用可とう継手は、ボルト・ナットを締付けることでパッキンに取付けられた鋼球が管に食い込むことにより、管の抜け出し防止に効果がある。ロックリング入り排水鋼管用可とう継手は、ボルト・ナットを締付けることでパッキンに組み込まれたロックリングが管に食い込むことにより、管の抜け出し防止に効果がある。なお、両者とも、採用は特記による。

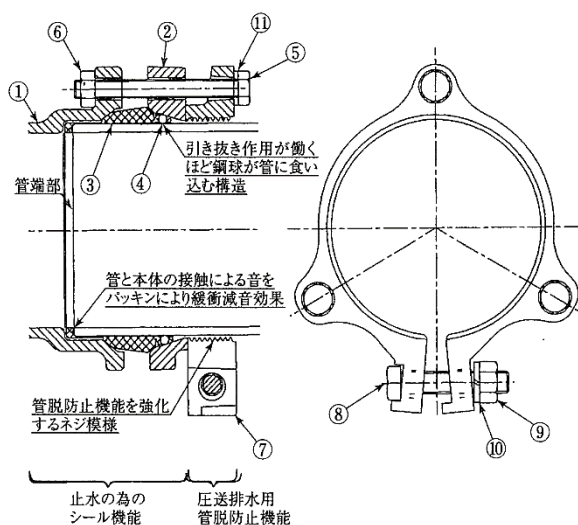


番号	名称
①	本体
②	フランジ
③	クッションボールパッキン
④	鋼球
⑤	Tボルト
⑥	六角ナット

図 2.5.20 【参考】鋼球入り排水鋼管用可とう継手 ※平成 16 年版から記載されています。

(c) 圧送排水鋼管用可とう継手による接合

JPF MDJ 003：2007 (圧送排水鋼管用可とう継手) に規定する可とう継手による接合で、圧送排水による管の抜け出し防止に効果があり、かつ、止水性能を有する。接合方法の詳細は、製造者の技術資料等による。



番号	名称
①	継手本体
②	フランジ
③	鋼球入りパッキン
④	鋼球
⑤	本体側ボルト
⑥	本体側ナット
⑦	グリップ
⑧	グリップ側ボルト
⑨	グリップ側ナット
⑩	スプリングワッシャー
⑪	ワッシャー

(d) 【参考】グリップ式 (鋼球入りパッキン付き)

図 2.5.22 圧送排水鋼管用可とう継手 ※平成 19 年版から記載されています。